

みんなの広場

消防協力者に感謝状を贈呈

救命講習の経験を生かし人命救助

伊万里・有田消防本部は、心肺停止の傷病者に対し連携して迅速・的確な救命処置をした、村岡利和さん、齋藤裕樹さん、石橋諒一さんに感謝状を贈呈しました。1月13日、伊万里ハーフマラソンを沿道で応援中、目の前でランナーが倒れたため、救急隊が到着するまで3人は連携して心臓マッサージやAEDを施し、尊い命を救いました。



↑感謝状を贈呈された3人。左から石橋さん、齋藤さん、村岡さん

J A伊万里が新入学児童に交通安全傘を寄贈

雨の日も安全に登下校してほしい

新しく小学校に入学する児童を交通事故から守ろうと、J A伊万里が市に反射材付きの傘 547 本を贈りました。県内の4つのJ Aによる独自の取り組みです。市役所を訪れた岩永康則代表理事組合長は、見本の傘を松本定教育長に手渡し、「特に雨の日は運転手から子どもたちが見えにくい。交通安全に役立ててもらえれば」と話しました。



↑岩永組合長（右）から手渡された傘を開く松本教育長

スリランカカレー料理教室

他国の食文化を体験してみよう

立花公民館で『スリランカカレー料理教室』がありました。国際協力に取り組むNPO法人『愛未来』（佐賀市）が多文化共生について考えてもらおうと実施したものです。この日は21人が参加。市内で外国人技能実習生として働く、スリランカ人のペレラーさんとクマーリさんを講師に迎え、多彩なスパイスの効いた本格カレーを作りました。



↑講師が助言する中、調理が進みます

伊万里・有田地区歯科医師会が歯ブラシを贈呈

歯みがき習慣を身につけて

伊万里・有田地区歯科医師会が、市内の小学6年生と、新たに小学1年生になる子どもたち全員にと、歯ブラシ 1,150 本を市に寄付しました。贈呈のため市役所を訪れた池田盛多^{もりた}会長は、「口の中を健康に保つことは子どもたちの発育にとっても大切。小学生、中学生になって環境が変わっても、歯みがきの習慣を続けてほしい」と話しました。



↑深浦弘信市長（左）に目録を手渡した池田盛多会長